



大曲中学校区【目指す子ども像】 豊かな心で 元気なあいさつ 自ら考え 進んで学ぶ 大志をいだき 未来をひらく 大曲の子ども

法令や学習指導要領 教育基本法
「教育は人格の完成を目指す」
学習指導要領
「知識や技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力や豊かな人間性を育成」

北海道教育推進計画 基本理念
「自立」
「北の大地で世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む」
「共生」
「ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む」

教育目標

○ともに学び高め合う生徒（知）
○豊かな感性を培う生徒（情）
○健やかな心身を育む生徒（体）
○自ら考え行動する生徒（意）

令和6年度重点教育目標

「命」と「誇り」を育む曲中新時代！
～協働して、学び、支え、高め合う～

【生徒の実態】
○明るく挨拶することができる。
○行事や奉仕活動では、協働して意欲的に取り組むことができる。
○周囲に流されやすい傾向にあり、自己を律する姿勢に課題が見られる。
○基礎基本の定着に課題のある生徒が3割程度見られる。
○家庭において、メディアの利用時間が多く、家庭学習の習慣が身に付いていない生徒が多い。

大曲スタンダード「あいさつ」「へんじ」「りつよう」「ことば」

石狩管内教育推進の重点
テーマ「子どもの未来保障」
—全ての子どもに必要な資質・能力を確実に育成する石狩の教育—
重点1「資質・能力の確実な育成・定着」
重点2「学校組織の強化・活性化→人材育成」
重点3「地域と歩む持続可能な教育体制の実現」

北広島市学校教育の基本方針
【めざす子ども像】
「大志をいだき 心豊かに たくましく 生きる子ども」
～ 自立 協働 創造 ～
【学校教育の重点】
「持続可能な社会の創り手を育む教育」
～コミュニティ・スクールを基盤とした 小中一貫教育の取組を通して～

育成を目指す生徒の資質・能力【生きる力】

| | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|----------------------|--------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| ともに学び高め合う生徒（知）＝かしこく | ①各教科の基礎的な知識や技能を確実に身に付ける。 | ②自ら考え吟味し、言葉で伝えることができる。 | ③興味・関心を持ち、課題や疑問に粘り強く取り組む。 |
| 豊かな感性を培う生徒（情）＝ただしく | ④心のもった挨拶ができ、礼儀正しい行動をとる。 | ⑤思いやりの気持ちを持ち、感動する心・感謝の心をもつ。 | ⑥学校生活や地域社会と関わりながら自己有用感を高める。 |
| 健やかな心身を育む生徒（体）＝たくましく | ⑦健康に気を付け、基本的な生活習慣を身に付ける。 | ⑧安全に対し正しい判断をし、自他の命を守る。 | ⑨体力向上と健康維持に努め、よりよい生活を作り出そうとする。 |
| 自ら考え行動する生徒（意）＝ねばり強く | ⑩自分の仕事に仲間と協力し最後まで取り組む | ⑪夢や目標に向かって、粘り強く、計画的に取り組む。 | ⑫様々な経験を生かして、新たなことに挑戦する。 |

<成果指標> = 生徒アンケートの項目

| | R 5 (12) | R 6 (7) | R 6 (12) | R 7 (7) |
|---------------------|----------|---------|----------|---------|
| ① 学校に行くのが楽しい。 | 83. 3% | % | % | % |
| ② 自分にはよいところがあると思う。 | 75. 5% | % | % | % |
| ③ 人の役に立つ人間になりたいと思う。 | 94. 3% | % | % | % |

重点とする具体的な取組

重点1「学習指導の充実」

①育む資質・能力を明確にした授業改革
・校内研究を通じた教員の指導力向上
・授業スタンダードのアップデート
・対話とICTを生かした指導の確立

②自ら粘り強く学習に取り組む姿勢の指導
・振り返り見通す力を育む授業の工夫
・家庭と連携した家庭学習の充実

重点2「生徒指導の充実」

③積極的な生徒指導の積み重ねを継続する
・日々の生徒理解を大切に、自己肯定感が高まる集団を構築する
・いじめや不登校、非行等の防止につながる「こころ」を育む

④組織的な生徒指導の更なる徹底を図る
・校内外のスタッフと柔軟に連携して、合意形成や共通理解を図る
・将来の社会的自立を見据えた支援を、日常の教育活動を通じて行う

重点3「特別活動等の充実」

⑤集団を高め、個を伸ばす生徒会活動の実践
・学級、学年、生徒会活動の活発化
・連帯感、所属感を高める各種行事の推進

⑥豊かな心を育む活動の実践
・ボランティア、朝読書、学級合唱の推進
・キャリアパスポート（夢ノート）を活用した職業観、勤労観の育成

重点4「チーム曲中の推進」

⑦マネジメントサイクルを活かした組織的な教育活動の推進
～組織マネジメントと、カリキュラムマネジメントによる「チーム曲中」としての取組～

⑧社会に開かれ信頼され、誇れる学校づくりの推進
～社会に開かれた教育課程の実践による地域と一体となった教育活動～

⑨時代を見通した「今日的課題」への取組の推進
～GIGAスクール、生徒の安心安全の保障・学びの保障、働き方改革～

自己肯定感を育むために家庭、地域、学校が一体となった取組

<家庭の協力>・PTA活動の活性化（多くの保護者が学校に係わる工夫） など
<地域の協力>・大曲プロジェクト（コミュニティ・スクール）の充実 など